

# 音楽科学習指導案

I 題材 和音の美しさを味わって

II 考察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

## ③学びに向かう力・人間性等

和音のもつ表情や和声の響きの美しさを感じ取り、協働して主体的に音楽活動に取り組む態度

## ①知識・技能

音の重なりや和声の響き、音楽の縦と横の関係の理解や、和声の響きを味わいながら自分たちの表したい音楽表現をするための技能

## ②思考力・判断力・表現力等

和声の響きを聴き取り、和音のもつ表情のよさを感じ取りながら音楽表現を工夫したり表現のよさを味わって聴いたりする力

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

A表現 (1) エ 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。

(3) イ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、見通しをもって音楽をつくること。

〔共通事項〕(音楽を特徴付けている要素) 和声の響き、音の重なり

(音楽の仕組み) 音楽の縦と横の関係 (用語) へ音記号, I・IV・V・V<sub>7</sub>, 全音符

(3) 本題材の学習とその価値

本題材は、和音のもつ表情や和声の響きの美しさを感じ取りながら、聴いたり歌ったりする学習である。その価値は以下のとおりである。

子どもたちはこれまで、音の重なりを感じ取りながら音楽活動をしてきているが、音を調和させることや全体としての響きを聴き取り、味わいながら音楽活動をするまでには至っていない。5年生になり、自分の音だけでなく周りの音にも意識を向けられるようになってきている子どもたちにとって、和音のもつ表情や和声の響きの美しさを感じ取りながら、聴いたり歌ったりすることは、協働して主体的に音楽活動に取り組む態度を養うことにつながる。

I, IV, Vの和音は、その調における和音の中で核となる主要3和音である。Iの和音には落ち着く感じや解決する感じがあり、IVやVにはその後も続く感じや緊張する感じがある。これらの和音が使われた楽曲を学習することで、基本的な和音のもつ表情を感じ取ることができる。和音の進行である和声は、音楽に厚みや楽曲の流れを生み出すのに不可欠である。和声の響きを学習することで、今後、和音のもつ表情や和声の響きの美しさをより深く味わいながら音楽活動を

することができる。

「こげよマイケル」、「静かにねむれ」、「楽しいうた」はハ長調でI・IV・V・V<sub>7</sub>の和音のみが使われている楽曲であり、主要3和音をはじめて学習するのに適している。「楽しいうた」は和音の構成音を中心に主な旋律がつくられており、歌詞に階名も入っていることから、個人差のある音楽的な感覚だけではなく、楽譜を手がかりとして主な旋律にふさわしい和音を選ぶことができる。「静かにねむれ」と同じ和声であることから、2曲を比較して和音のもつ表情を味わったり、和声の特徴に気付いたりすることができる。

#### (4) 今後の学習

ここでの学習は、5年「和音の美しさを味わって②」で、和音のもつ表情や和声の響きの美しさを味わいながら、聴いたり合奏したりする学習へと発展していく。

#### 2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、4年「音の重なり」において、旋律の重なり合うおもしろさを感じ取り、互いの歌声を聴き合って合唱したり、想像豊かに聴いたりする学習をしてきた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本題材を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

① 旋律の重なりを理解し、異なる旋律の友達の歌声を聴きながら、自分の声を合わせて合唱することができる。このような子どもたちが、和声の響きや音楽の縦と横の関係を理解できるように、学習した楽曲同士を比較して、和音の使われ方の共通点を話し合う活動を設定する。

また、全体の響きを聴きながら、自分の声を友達の声と調和させて歌うことができるように、円の隊形になって互いの声を聴きながら合唱する場を設定する。

② 歌詞の表す情景を想像し、旋律の重なり合うおもしろさを感じ取りながら、それぞれの旋律が調和するように歌い方を工夫したり、旋律や音が重なり合う響きの美しさを味わって聴いたりしてきている。このような子どもたちが、和声の響きを聴き取り、旋律にふさわしい和音を選べるように、和音の種類と進行を示した和音パズルと鉄琴を用意する。

③ 同じ旋律や異なる旋律の重なり合うおもしろさを感じ取り、友達と互いの歌声を聴き合って主体的に合唱に取り組んできている。このような子どもたちが、和音のもつ表情や和声の響きの美しさを感じ取り、友達と協力しながら主体的に聴いたり歌ったりできるように、和声の響きの美しい楽曲を繰り返し合唱する活動を設定する。

### Ⅲ 目標及び評価規準

#### Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

#### Ⅴ 本時の学習

- ねらい 和音パズルを操作しながら鉄琴で和音を演奏することを通して、「楽しいうた」の主な旋律にふさわしいI・IV・V・V<sub>7</sub>の和音を選ぶことができる。
- 準備 和音パズル 鉄琴 マレット 「楽しいうた」の主な旋律が流れるICレコーダー
- 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の途中のこの響きの感じだと、Iの和音ではないかな。</li> <li>・はじめて聴いた「楽しいうた」に合う和音を探すのは難しそうだけど、パズルが繋がるように選んでいけばよいのだな。</li> </ul> <p>2 「楽しいうた」の主な旋律にふさわしいI・IV・V・V<sub>7</sub>の和音を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初にIVの和音から始めると、変な感じがしたよ。最初はIの和音の方が合っていると思うな。</li> <li>・4小節目は、パズルのつながりで考えると、4つの和音のどれでもよさそうだよ。レの音があるからVの和音かな。</li> <li>・歌に合わせて鉄琴を鳴らしてみたら、4小節目はVの和音がぴったり合うような感じがするよ。</li> <li>・「静かにねむれ」の‘昔を語る’の歌詞の所は、1小節の中でIとV<sub>7</sub>の2つの和音があるよ。「楽しいうた」の‘元気よく’の歌詞の所も、IとV<sub>7</sub>の2つの和音を使うとよいのではないかな。</li> <li>・1・2段目を続けて演奏してみたら、歌によく合っている感じがしたよ。3・4段目も似ている感じがするから、最初から最後までを続けて演奏できそうだな。</li> </ul> <p>3 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「楽しいうた」の主な旋律に合う和音を自分たちの力で選べてよかったな。違う和音を選んだ班もあっておもしろいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○和音に対する音楽的な感覚を養えるように、和音クイズをする時間を設定し、聴こえた和音をハンドサインで表すよう促す。</li> <li>○班で「楽しいうた」の主な旋律にふさわしい和音を選ぶという本時の見通しをもてるように、和音パズルの操作方法を例示する。</li> <li>○音楽的な感覚を使って和音を選べるように、4～5人組の班を編制し、各自で考えたふさわしい和音や感じたことを伝え合うよう促す。</li> <li>○音楽の縦と横の関係を生かしながら、和音を選べるように、和音の種類と進行を示した和音パズルを班に1セット用意し、和音パズルのつながり方を問いかける。</li> <li>○実際に音に出して和音の響きを確かめられるように、一人1本のマレットと、班に1台の鉄琴を用意し、ICレコーダーや歌声に合わせて音を鳴らしながら和音を選ぶよう助言する。</li> <li>○1小節の中で2種類の和音を選べることに気付けるように、既習曲の「静かにねむれ」を歌う時間を設定し、2分音符の和音が使われている小節を問いかける。</li> <li>○音楽の横の関係を感じながら和音を選べるように4小節程度を続けて演奏するよう促す。</li> </ul> <div data-bbox="767 1619 1401 1845" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">評価項目</p> <p style="text-align: center;">和音の響きを感じながら、主な旋律にふさわしいI・IV・V・V<sub>7</sub>の和音を選んでいる。</p> <p style="text-align: center;">&lt;演奏・学習プリント②&gt;</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○和音を選んで演奏できた達成感を味わえるように、友達と協力して取り組んだことを賞賛する。</li> </ul>

指導と評価の計画（全4時間）

目標	和音のもつ表情や和声の響きの美しさを感じ取りながら、聴いたり歌ったりする。				
評価 規準	① 知識・技能)音の重なりや和声の響き、音楽の縦と横の関係を理解している。 全体の響きを聴きながら、自分の声を友達の声と調和させて歌うことができる。 ②思考力・判断力・表現力等)和声の響きを聴き取り、旋律にふさわしい和音を選ぶとともに、声の調和の仕方を工夫したり、和音のもつ表情や和声の響きの美しさを味わって聴いたりする。 ③学びに向かう力・人間性等)和音のもつ表情や和声の響きの美しさを感じ取り、友達と協力しながら主体的に聴いたり歌ったりしている。				
教材	ア…こげよマイケル 長崎 一男日本語詞 スピリチュアル ハ長調 4分の4拍子 イ…静かにねむれ 武井 君子作詞 フォスター作曲 ハ長調 4分の4拍子 ウ…楽しいうた 教師作詞作曲 ハ長調 4分の4拍子				
過程	時間	配分	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
であう	1	ア	○「こげよマイケル」を三部合唱し、I・IV・V・V <sub>7</sub> の和音のもつ響きの違いを感じ取り『和音のひびきを感じ取って表現しよう』という学習のめあてをつかむ。	○I・IV・V・V <sub>7</sub> の和音のもつ表情や和声の響きの美しさを感じ取り、主体的に聴いたり歌ったりできるように、子どもたちにとって親しみのある楽曲の和音を変えた伴奏を比べて鑑賞したり、伴奏に合わせて一緒に歌ったりする活動を設定する。	◇I・IV・V・V <sub>7</sub> の和音のもつ表情や和声の響きの美しさを感じ取り、主体的に聴いたり歌ったりしている。 <観察・学習プリント③>
ふかめる	1	イ	○「こげよマイケル」の和音の部分を合唱したり鉄琴で演奏したり、「静かにねむれ」を歌ったりする。	○I・IV・V・V <sub>7</sub> の和声の響きを聴き取って、自分の声の音程を調整できるように、円の隊形になって、目を閉じて周りの人の声を聴きながら歌う場を設定する。	◇I・IV・V・V <sub>7</sub> の和声の響きを聴き取り、自分の声を友達の声と調和させている。 <演奏>
	1	ウ	○鉄琴を演奏しながら「楽しいうた」の主な旋律にふさわしいI・IV・V・V <sub>7</sub> の和音を選ぶ。(本時)	○主な旋律にふさわしいI・IV・V・V <sub>7</sub> の和音を選べるように、和音の種類と進行を示した和音パズルと鉄琴を、班に1セット用意する。	◇和音の響きを感じながら、主な旋律にふさわしいI・IV・V・V <sub>7</sub> の和音を選んでいる。 <演奏・学習プリント②>
まとめる	1		○「こげよマイケル」と「静かにねむれ」を和声の響きを感じ取りながら合唱する。	○和声の響きや音楽の縦と横の関係を理解できるように、学習した楽曲同士を比較して、和音の使われ方の共通点を話し合う活動を設定する。	◇和声の響きや音楽の縦と横の関係で分かったことについて記述している。 <学習プリント①>